

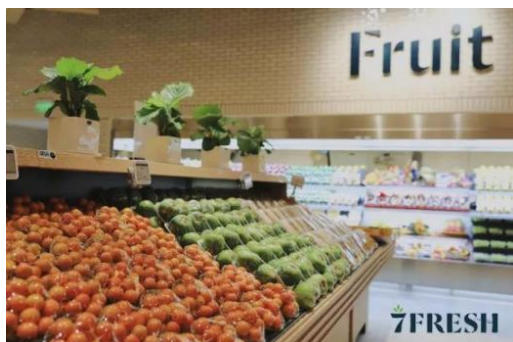
中国・小売業 No.1 の大手 EC&インフラカンパニー^{ジンドン}京東集團【JD.com】
5 年以内に 1,000 店舗の出店を目指す
次世代型生鮮スーパー「7FRESH」、不動産 16 社と業務提携

中国市場を牽引する EC サイト「^{ジンドン}京東商城 (JD.com)」を運営する中国・小売業 No.1 の大手 EC & 小売インフラカンパニー^{ジンドン}京東集團（代表：劉強東 本社：中華人民共和国 北京市 NASDAQ:JD）傘下の生鮮スーパー「7FRESH」は、2018 年 9 月 19 日、商業施設内での「7FRESH」出店加速を目指し、「保利」「大悦城」「万科」「越秀」「緑地」等の不動産企業 16 社と業務提携契約を調印しましたのでお知らせします。また、京東は 5 年以内に、中国で 1,000 店舗の次世代型生鮮スーパー「7FRESH」の出店を目指してまいります。

「7FRESH」は 2018 年 1 月より展開中の、オフラインとオンラインの購買体験を統合した、全く新しい生鮮スーパーです。京東初のオフラインの生鮮スーパーとして 1 号店が北京で開業し、現在 2 店舗を運営中です。調達する商品は品質に関して厳格な基準を設けており、全世界からの直接調達品が全体の 20%を占め、生鮮類商品では 70%、生鮮類独自ブランド品では 60%を占めています。1 店舗当たりの在庫販売可能な商品数は 5000 品目を超える規模で、様々の京東ならではのショッピング体験を提供しています。例えば葉物は 24 時間を超えたら棚から下ろす等新鮮さの徹底した管理、中国料理、西洋料理は店内で購入しすぐに店員が加工・調理しその場で食べられる“グローサラント”型のイートイン施設、また QR コードを活用したトレーサビリティシステム、顔認証による無人レジなど、最新テクノロジーを多数採り入れた次世代型生鮮スーパーとなっています。

更に、配送面においても京東の持つ中国随一の物流能力により、店舗の半径 30km 以内には注文から 30 分以内の配送を実現しています。倉庫・貯蔵の面においても、京東物流が持つ中国全土の 10 の主要都市における 18 か所の生鮮冷蔵倉庫を活用しており、冷蔵輸送チェーンは全国の 300 都市をカバーしています。

今回提携を結んだ不動産企業 16 社は、中国国民から高い知名度があるブランドで、その商業施設を足し上げると中国全土のあらゆる地域をカバーする規模となります。「7FRESH」は今回の提携による店舗拡大を中国全土への布石として、さらなる出店加速を目指して参ります。また、今回の提携によって「7FRESH」側からも、京東のビッグデータを活用した商業施設近辺の消費者情報を分析し、不動産企業が策定する施設設計・店舗募集・集客プランをより良いものとするため協力を進めて参ります。



■京東集団 高級副総裁 王笑松氏 コメント

「7FRESH はインターネット企業が産み出した戦略的案件と言えるものです。我々はオフラインの企業に対し永遠に敬意と畏れの気持ちを抱いています。中国にはスーパーは不足していません。しかし7FRESH はスーパーを1軒作って他人のマーケットをこちらに頂こうとしているではありません。消費者の潜在的なニーズを掘り起こし、中国の庶民の食べるものが少しでも良くなり、少しでも安心して食べられ、価格も負担が重すぎないようにすることを目指すものです。実体店舗の小売りは非常に専門的な分野です。京東は独自にスーパー運営をすることにより、実体店舗に対して行うべきサービスが何かをクリアにしていきたいと思えます。」

■「7FRESH」参考イメージ



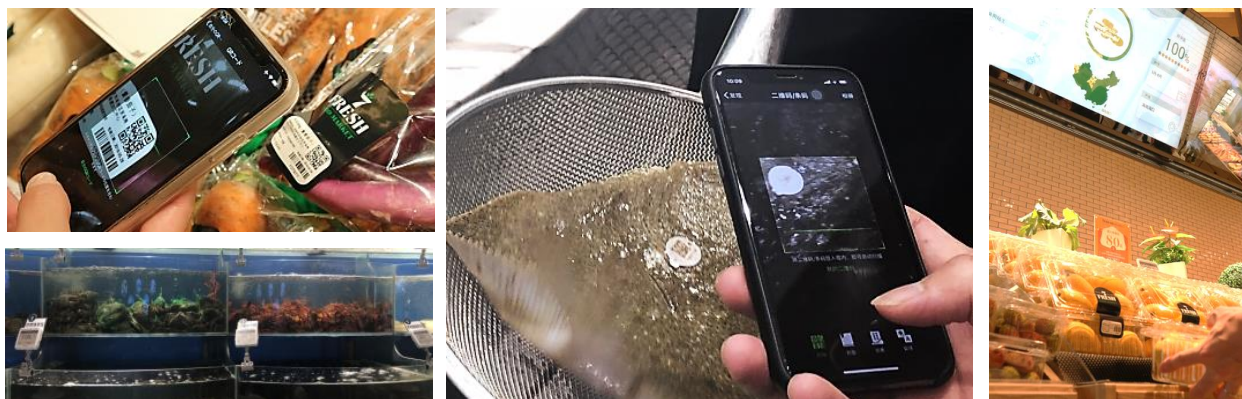
↑「グローサラント」型イートインエリア

↑財布やスマートフォンなしで決済できる顔認証レジ

↑お客様の後をついて回る自動カート

■「7FRESH」のトレーサビリティ

近年中国でも、食の安全性に対する意識が高まっています。その背景を受けて「7FRESH」では、ほぼすべての商品において、QRコードから商品の産地や情報を読み取ることが出来るようになっていきます。



↑魚介類にもQRコードがあり、産地を確認できる

↑バーコードをかざすとモニターに産地が表示される↑

【会社概要】

- ・会社名 : JD.com 京東日本株式会社
- ・所在地 : 〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-1-1
大手町パークビルディング 7階 703
- ・TEL : 03-6259-1951
- ・資本金 : 3,000万円
- ・代表者 : 日本業務最高責任者 荒井伸二
- ・業務内容 : 越境 EC の進出支援、日中間の一般貿易及び技術提携窓口